

## 愛知県気候変動適応センター 2021 年度の取組

小島 徳久 松田 涼樹

### 1 はじめに

近年、気温上昇や大雨の頻度の増加、農作物の品質低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスクの増加など、気候変動及びその影響が全国各地で現れており、今後、地球温暖化の進行に伴い、さらに拡大するおそれがあると予測されている。

気候変動のリスクを低減させるためには、温室効果ガスの排出量を削減する「緩和」だけでなく、既に顕在化している、又は将来予測されている気候変動影響への「適応」が必要とされている。

2018 年 12 月に気候変動適応法が施行され、都道府県及び市町村は、地域によって異なる気候や地形、社会、産業構造に対応した気候変動適応を推進するため、「地域気候変動適応センター」を設置する努力義務が課された（同法第 13 条）。これを受け、本県では 2019 年 3 月に愛知県気候変動適応センター（以下「適応センター」という。）を設置した。

適応センターでは、県民や事業者等の各主体の適応への取組を一層促進する拠点として、主に「県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析」「県民や事業者等への情報提供」「市町村等に対する適応策を推進するために必要な技術的助言」等の業務を行っている。

本報では、適応センター設置 3 年目にあたる、2021 年度の取組について紹介する。

### 2 県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析

国立研究開発法人国立環境研究所気候変動適応センターが運営する、気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）の活用や、気候変動適応中部広域協議会への参加等を通じて、適応センターは、国・地域気候変動適応センターとの連携を深め、気候変動影響・適応に関する科学的知見の収集・整理、分析技術の向上を図っている。

また、適応センターは 2021 年度までの 3 年間、地域の気候変動影響に応じた、きめ細やかな適応策を実施することを念頭に、地域の気候変動影響を把握することを目的とした「国民参加による気候変動情報収集・分析事業（以下「情報収集・分析事業」という。）」を、環境省から受託した。

2 年目（2020 年度）には、1 年目（2019 年度）に行った情報収集の成果から、本県にとって優先的に対応が求められる気候変動影響として、「都市部の気温上昇への影響」を課題の 1 つとして抽出し、過去の観測データや将来予測に関する研究結果等の情報収集・分析を行った。さらに、県内における熱中症による救急搬送者数の将来予測を行う計画を作成した<sup>1)</sup>。

3 年目（2021 年度）は、2 年目で作成した計画を基に再検討し、まず県内の 34 消防本部の熱中症による救急搬送者数及び追加的に収集した情報を解析した。さらに、熱中症による救急搬送者数の将来予測計算を行い、気候変動による熱中症発症の将来変化を推

定した。また、暑熱への適応策を検討するために有益となる適応オプションの情報を収集し、検討、分類及び整理を行った。

将来予測計算の内容、結果及び追加的に収集した情報については、これらの妥当性を確認するため、有識者で構成する「令和3年度愛知県気候変動適応検討委員会」を設置し、科学的見地からの助言を受けた。

なお、ここでは現況解析及び将来予測計算の概要について紹介する。

<現況解析>

愛知県の熱中症救急搬送者数と WBGT（暑さ指数）の関係から、日最高 WBGT が 31℃以上で熱中症救急搬送者数が増加していることが確認された（図1）。

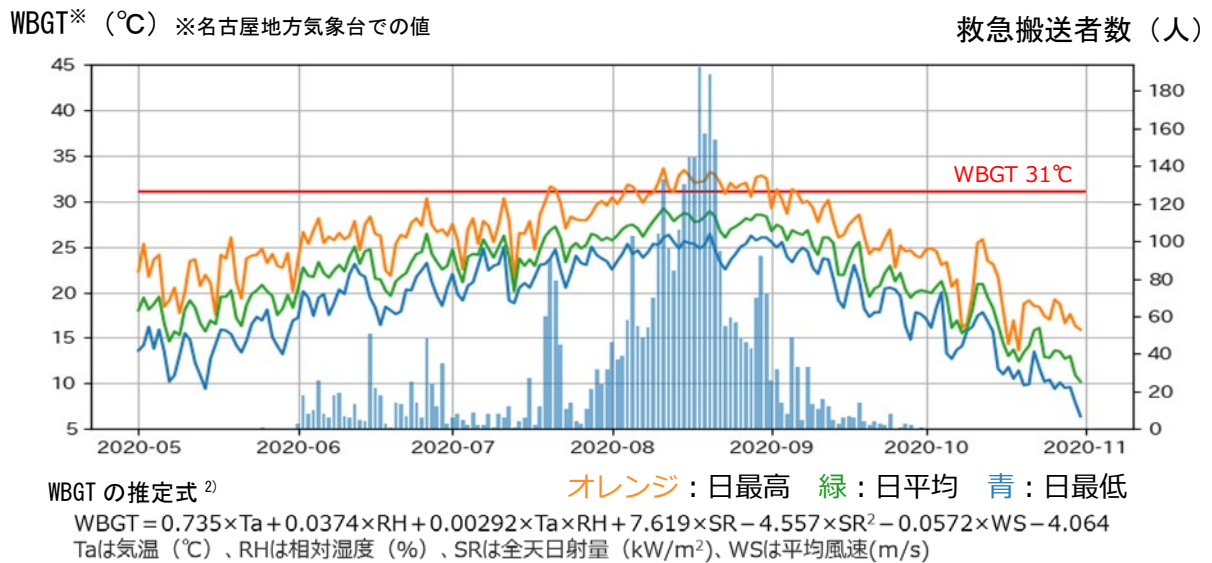


図1 愛知県の熱中症救急搬送者数と WBGT の関係

愛知県内の地域別の特徴を抽出し検討するため、気象庁の予報区分を踏まえて各消防本部を4つの地域（名古屋市域、尾張地域（名古屋市域を除く）、知多地域・三河地域沿岸地区、三河地域内陸地区）に区分し（図2）、地域別の解析を行った。

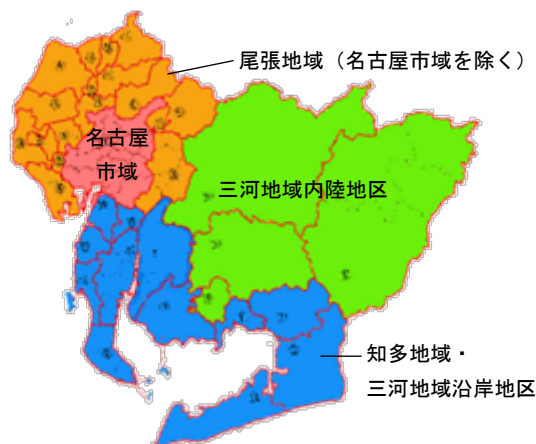


図2 本検討での地域区分（赤実線は34消防本部の管轄区域の境界）

熱中症救急搬送者数の年齢別の割合（図3）では、どの地域も65歳以上が多く、発生場所別の割合（図4）では、名古屋市域とその他の地域で傾向が異なり、名古屋市域は仕事場（工場・農地等）が少なく、住居、公衆出入り場所（屋内）、道路が多いという地域特性が認められた。これらから、地域別に適応策を検討する必要があることが示唆された。

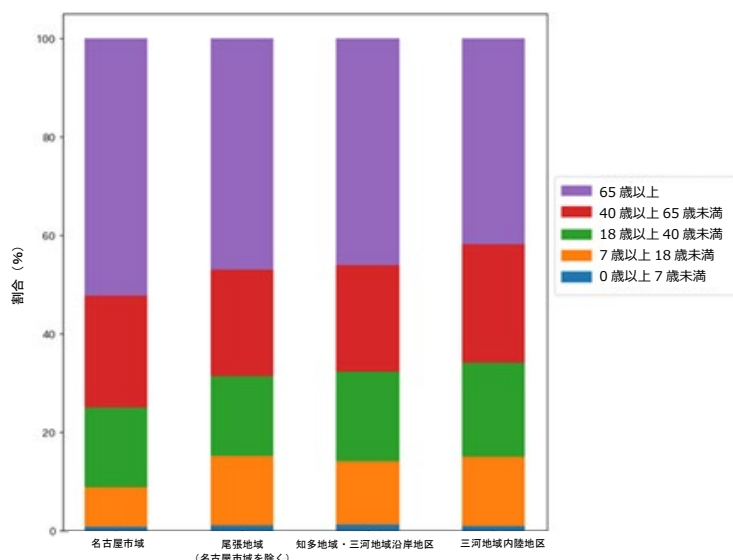


図3 地域別の熱中症救急搬送者数の割合  
(年齢別. 2011~2020年の5~10月)

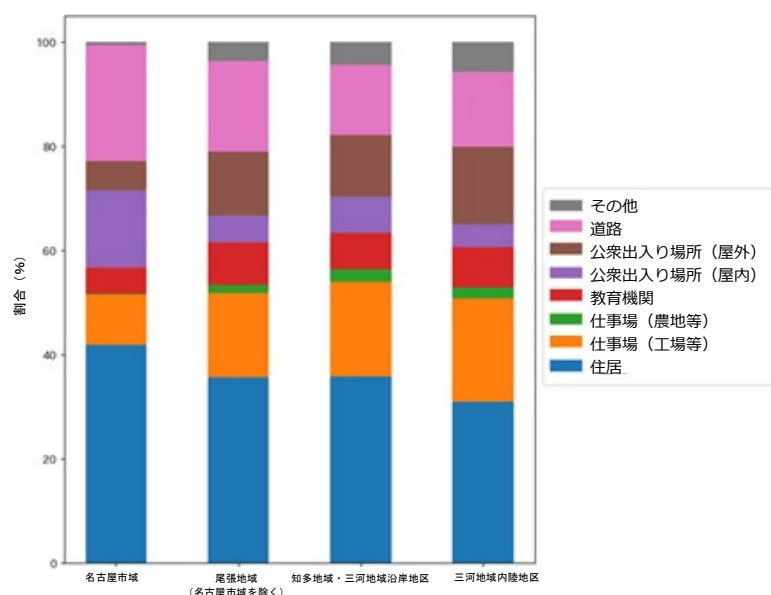


図4 地域別の熱中症救急搬送者数の割合  
(発生場所別. 2017~2020年の5~10月)

#### <将来予測>

文献調査及び検討の結果を踏まえ、4つの地域別に環境省熱中症予防情報サイト<sup>3)</sup>から収集した県内の日最高 WBGT と熱中症救急搬送者数の関係をプロットし、この散布図から非線形最小二乗法を用いて、指数関数の予測式を作成した（図5）。

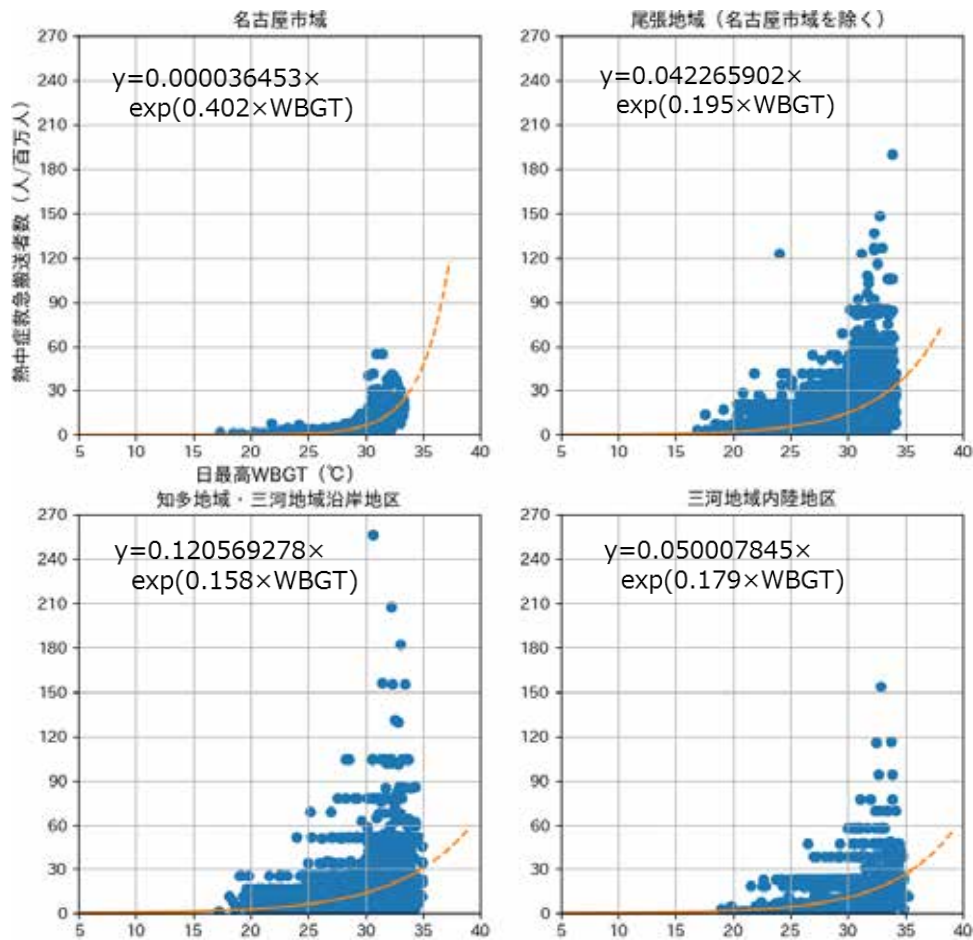


図5 日最高WBGTを用いた熱中症救急搬送者数の予測式の作成

なお、将来気候の日最高WBGTは、国立環境研究所が作成し、公開している「CMIP5をベースとしたCDFM手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ」<sup>4)</sup>の4つの気象要素(気温、湿度、風、全天日射量)から計算した日平均WBGT(図6)から換算して用いた。

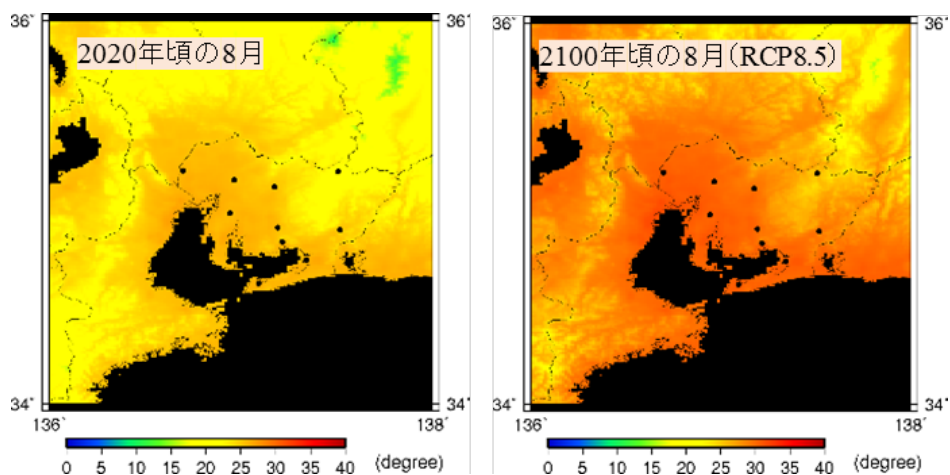


図6 CMIP5(気候モデルMIROC5)の日平均WBGTの水平分布図例  
 (左:2020年頃(2011~2020年の平均)の8月,右:RCP8.5(最も気温上昇の高いシナリオ)における2100年頃(2091~2100年の平均)の8月)

予測した将来気候の日最高 WBGT 及び熱中症救急搬送者数の予測式から、将来気候（2030年頃、2050年頃、2100年頃）の熱中症救急搬送者数を予測した。予測においては、気候シナリオデータに収録されている4つの気候モデル計算結果を用いて、それぞれ将来気候の日最高 WBGT を計算し、気候モデルの特性を踏まえた検証を行った。

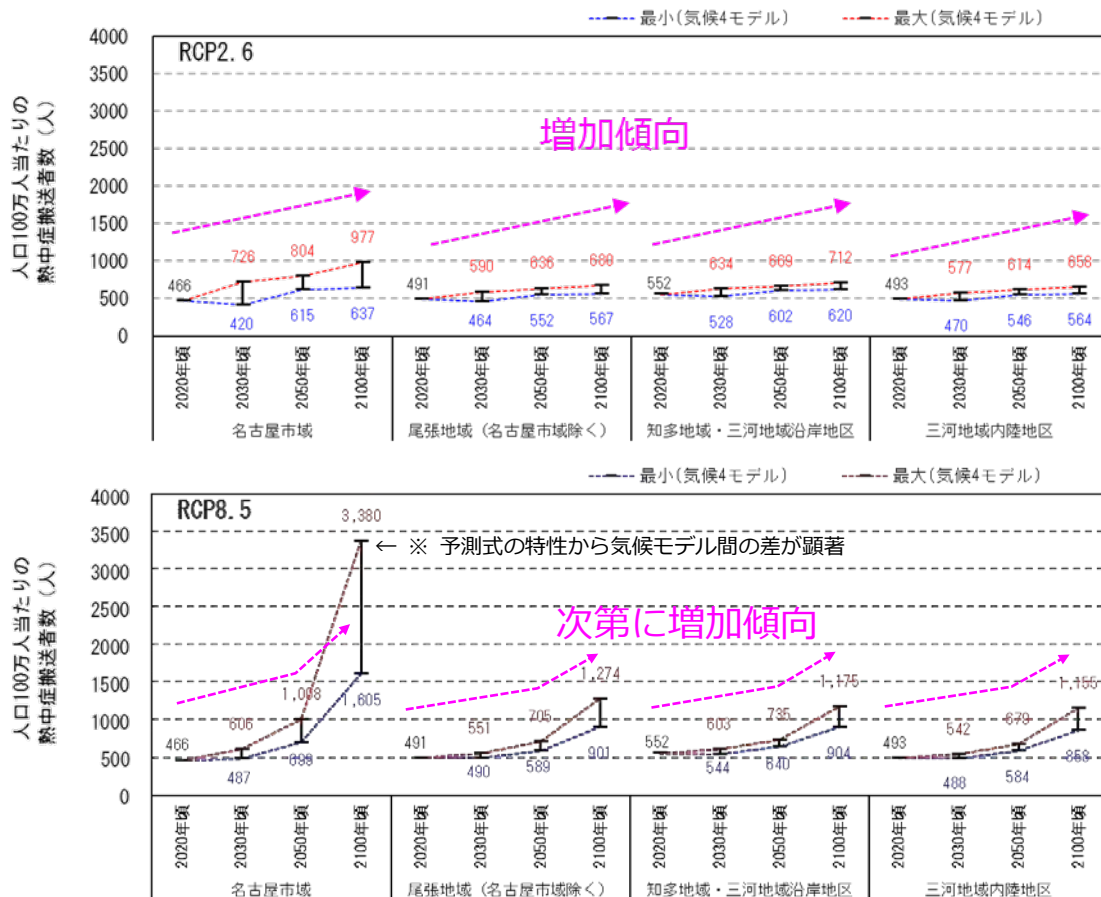


図7 単位人口当たりの熱中症救急搬送者数の将来予測結果  
 (上：RCP2.6 (最も気温上昇の低いシナリオ)、  
 下：RCP8.5 (最も気温上昇の高いシナリオ))

単位人口あたりの熱中症救急搬送者数（図7）は、RCP2.6（最も気温上昇の低いシナリオ）及びRCP8.5（最も気温上昇の高いシナリオ）の全ての地域で、2100年頃まで増加すると予測された。RCP8.5では、RCP2.6に比べて2100年頃の熱中症救急搬送者数が増加し、特に名古屋市域の搬送者数が増大する可能性があることが予測された。

以上のように、将来のWBGTが上昇した時に、現状と同様の行動をとっていると搬送者数が増加する可能性があることから、現状以上の対策を講じていく必要がある。

なお、RCP8.5で2100年頃に名古屋市域をはじめ、各地域の搬送者数が顕著に増加していることについては、予測式や気候モデルの特性によるものであって、不確実性が伴うことに留意する必要がある。

3年間の情報収集・分析事業の成果概要については、適応センター及びA-PLAT（情報収集・分析事業）のWebページにおいて公表している。

今後もこれらの成果を活用・紹介することによって、県民や事業者の気候変動適応に関する取組について関心を高めるとともに、県内市町村の気候変動適応の促進に貢献していく。

### 3 県民や事業者等への情報提供

#### (1) 愛知県気候変動適応センターだよりの発行

適応センターが発行する愛知県気候変動適応センターだより（以下「適応センターだより」という。資料1）は、広く県民や事業者等に向けて、身近な季節の話題から、県民に関係する気候変動影響や適応策・緩和策について分かりやすくまとめた刊行物である。適応センターだよりは、県が毎月発行している環境情報紙「環境かわら版」に掲載するとともに、適応センターのWebページでも公開している。本取組については、A-PLATの適応策データベースにおいても、「地域気候変動適応センター通信の発行」として紹介されている。

2021年度に適応センターだよりで取り上げた掲載項目を表1に示す。

表1 適応センターだより掲載項目（2021年度）

掲載年月	項目
2021.4	4月の気候の変化、猛暑による学校行事の移行、カーボン・オフセット製品の購入【緩和策】
2021.5	気候変動に強い「きぬあかり」、海洋酸性化の進行
2021.6	今年の梅雨について、「避難指示」で必ず避難できるように【適応策】、平年値の更新と降水量の変動について
2021.7	平年値の更新と気温の変動について、熱中症警戒アラートの活用と予防行動【適応策】
2021.8	あいち COOL CHOICE～緩和策・適応策～、生き物への気候変動影響に関する調査
2021.9	世界と日本の海面水温の変動傾向、台風情報の見方【適応策】
2021.10	COP26と温室効果ガス削減の現状、温暖化による水稻（コメ）への影響
2021.11	CO <sub>2</sub> 濃度の経年変化と季節変動、発電方法別のライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量【緩和策】
2021.12	真鍋淑郎氏のノーベル物理学賞受賞について、気候変動適応の国際的な協力に向けた取組について、国の気候変動適応計画の改定について
2022.1	今冬の天候の見通しについて、ウォームビズの取組について【緩和策・適応策】
2022.2	大気中の温室効果ガスの状況について、「省エネラベル」について【緩和策】
2022.3	桜の開花日の変化について、生物季節観測の必要性について【適応策】

## (2) 環境イベントでの普及啓発活動

県民、事業者等に対して気候変動影響や適応への関心を高め、適応策の実施を促すため、環境イベント等においてブース出展を行い、情報収集・分析事業の成果（1年目及び2年目）の説明や啓発チラシの配布、パネル展示等を行った（表2）。

なお、当該普及啓発活動の一部は、情報収集・分析事業3年目の取組にも含まれている。

表2 ブース出展を行った環境イベント等一覧（2021年度）

行事名	開催日	場所
小中学生の社会見学（環境学習）、夏休み講座開催、冬休み講座開催、施設見学の実施時	2021. 5. 24（金） ～2022. 3. 31（木） の見学実施日	愛知県環境調査センター内 あいち環境学習プラザ （名古屋市北区）
あいち COOL CHOICE （イオンモール東浦）	2021. 7. 3（土）	イオンモール東浦 （知多郡東浦町）
あいち COOL CHOICE （イオンモール扶桑）	2021. 8. 1（日）	イオンモール扶桑 （丹羽郡扶桑町）
あいち COOL CHOICE （イオンモール常滑）	2021. 8. 14（土）	イオンモール常滑 （常滑市）
アクション油ヶ淵 2021	2021. 10. 3（日）	油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園 （安城市）
SDGs AICHI EXPO 2021	2021. 10. 22（金） ～23（土）	愛知県国際展示場 （常滑市）
第8回三河湾大感謝祭	2021. 10. 24（日）	豊田自動織機 海陽ヨットハーバー （蒲郡市）
食品ロス削減イベント・ ごみゼロ社会推進あいち県民大会	2021. 11. 3（水）	ナディアパーク デザインホール （名古屋市中区）
2021 愛知県環境調査センター 一般公開デー	2021. 12. 11（土）	愛知県環境調査センター （名古屋市北区）
あいち COOL CHOICE （イオンモール名古屋茶屋）	2021. 12. 18（土）	イオンモール名古屋茶屋 （名古屋市港区）
あいち地球温暖化対策フォーラム	2021. 12. 22（水）	愛知芸術文化センター （名古屋市中区）
あいち COOL CHOICE （イオンモール岡崎）	2022. 1. 15（土）	イオンモール岡崎 （岡崎市）
あいち COOL CHOICE （イオンモール木曾川）	2022. 1. 23（日）	イオンモール木曾川 （一宮市）



2021年度のブース出展では、情報収集・分析事業（2020年度）の取組の一つとして、県民、事業者等に対して気候変動影響や適応への関心を高め、適応策の実施を促すため、作成した啓発パネル（資料2～3、大人用及び子ども用各2枚）を主として、県の環境学習施設「あいち環境学習プラザ」や環境イベント等において展示した。パネルの内容は、適応センターのWebページで常時公開している。

また、一部の出展では、適応センターだよりの話題から出題したクイズやボードゲーム（全国地球温暖化防止活動推進センターの「暖冷たべものゲーム」を使用）を実施するなど、気候変動適応を楽しみながら学んでもらえるように努めた。



写真1 ブース出展の様子（SDGs AICHI EXPO 2021，2021年10月23日）



写真2 ブース出展の様子  
（2021愛知県環境調査センター 一般公開デー，2021年12月11日）

### (3) パンフレット「あいちの気候変動適応」

県における気候変動影響と適応策などについて説明したパンフレットを「あいちの気候変動適応」（資料4）として2022年3月に改訂した。

気候変動の経年変化に関するデータを更新するとともに、熱中症・猛暑対策、豪雨などの自然災害への備えなど身近でできる適応策について、県民、事業者等に一層理解してもらえるよう、図や写真などを用いた分かりやすい説明に見直しを図った。



このパンフレットは、環境イベント等で配布し、気候変動適応の普及啓発に活用しているほか、適応センター及びA-PLAT（地域気候変動適応センター一覧）のWebページで公開している。

#### 4 市町村等に対する適応策を推進するために必要な技術的助言

県内の市町村など各主体による気候変動適応施策を推進するため、気候変動に関する地域情報の提供や、気候変動影響の効果的な評価方法、適応策の例示などを行う「気候変動影響・適応研究会」を、「適応策の実施に係る地域連携の重要性」「住民の普段の生活への気候変動影響」「適応策の経済評価」を話題として、3回開催した（表3）。

表3 気候変動影響・適応研究会の開催概要（2021年度）

	開催日	講師	テーマの詳細
第1回	2021. 8. 19（木）	原田守啓*1氏	気候変動影響に対する行政と地域のステークホルダーの連携の重要性 など
第2回	2021. 11. 17（水）	岡和孝*2氏	都市インフラ・医療等に対する気候変動影響と適応策、気候変動適応情報プラットフォームの活用 など
第3回	2022. 3. 3（木）	中畷一憲*3氏	砂浜やブナ林などに対する気候変動影響、適応策を実施するために必要な環境経済評価 など

\*1 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学流域圏科学研究センター 准教授  
地域環境変動適応研究センター センター長

\*2 国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター  
気候変動戦略研究室 主任研究員

\*3 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 \*1～3は、いずれも開催当時の職名



写真3 気候変動影響・適応研究会（第2回）の様子  
（オンライン開催，2021年11月17日）

## 5 まとめ

適応センターの2021年度の主な取組として、3年目となる情報収集・分析事業では、本県にとって優先的に対応が求められる気候変動影響として、「都市部の気温上昇への影響」について、熱中症による救急搬送者数の将来予測計算を行い、気候変動による熱中症発症の将来変化を推定した。

緩和策を促進し、RCP2.6（最も気温上昇の低いシナリオ）となった場合であっても、名古屋市域、尾張地域（名古屋市域を除く）、知多地域・三河地域沿岸地区、三河地域内陸地区のいずれも単位人口当たりの熱中症救急搬送者数は増加する予測が得られたことから、現状以上の対策を講じていく必要があることが分かった。

RCP8.5（最も気温上昇の高いシナリオ）では、熱中症救急搬送者数が増加する傾向が、更に顕著となる可能性があることが分かった。

いずれにしても、将来のWBGTが上昇し、搬送者数が増加する可能性があることから、地域の特性に応じて適応オプションを検討するなど対策が必要である。

また、適応センターだよりの発行や環境イベント等でのブース出展、気候変動影響・適応研究会を通じて、県民や事業者、市町村等に気候変動影響や適応への理解や取組の促進を図った。

科学的知見から気候変動影響を正確に捉え、適応策を展開していくにあたり、今後も引き続き、国・地域気候変動適応センターや庁内・県内市町村との連携を深め、一層詳細な情報収集・整理・発信を行うとともに、気候変動影響に関する分析技術の向上を図る必要がある。また、改訂したパンフレット「あいちの気候変動適応」等を活用し、今後もイベント出展やセミナーの実施等の普及啓発活動を通じて、「適応策」という言葉・意味に関する認知度の向上を図り、県内の気候変動影響への適応の取組を促進していく。

## 文 献

- 1) 松田涼樹，小島徳久：愛知県気候変動適応センター 2020年度の取組，愛知県環境調査センター所報，**49**，61-71(2021)
- 2) 小野雅司，登内道彦：通常観測気象要素を用いたWBGT（湿球黒球温度）の推定，日生気誌，**50**(4)，147-157(2014)
- 3) 環境省 熱中症予防情報サイト：暑さ指数（WBGT）の過去データ，[https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt\\_data.php](https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php)（2023.2.10）
- 4) 国立環境研究所：CMIP5をベースにしたCDFDM手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ，<https://www.nies.go.jp/doi/10.17595/20200415.001.html>（2023.2.10）

## 愛知県気候変動適応センターだより（7月号）



## 1 平年値の更新と気温の変動について

「平年値」は、その時々気象（気温、降水量、日照時間等）や天候（冷夏、暖冬、少雨、多雨等）を評価する基準や、観測点の気候を表す指標値として用いられています。今月号では、2021年5月19日から使用されている、気温の新平年値（1991～2020年の平均値）について紹介します。

気象庁による発表では、気温の新平年値の特徴として、旧平年値（1981～2010年の平均値）と比較したとき、年平均気温は全国的に0.1～0.5℃、名古屋では0.4℃程度上昇したことを挙げています。

全国の年平均気温は、長期的に見ると徐々に上昇しており、特に1980年代後半から急速に上昇しています。この背景として、温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化や数十年周期の自然変動の影響、さらに地点によっては都市化も影響していると考察されています。

長期的な気温の上昇に伴い、名古屋の真夏日や猛暑日、熱帯夜の年間日数は増加しています。昼間だけでなく夜間の熱中症リスクも上昇していると考えられますので、就寝前の水分補給や適度なエアコン使用などの対策をして、熱中症に注意・警戒してください。

名古屋の真夏日・猛暑日・熱帯夜の年間日数

項目	年間日数（名古屋）		
	旧平年値	新平年値	差
真夏日	64.3	69.7	+5.4
猛暑日	11.5	15.0	+3.5
熱帯夜	19.4	25.6	+6.2

（気象庁のデータをもとに作表）

真夏日…日最高気温が30℃以上の日

猛暑日…日最高気温が35℃以上の日

熱帯夜…夜間の最低気温が25℃以上のこと

## 2 熱中症警戒アラート活用と予防行動（適応策）

今年度から、環境省と気象庁による「熱中症警戒アラート」の運用が全国的に始まりました。運用期間は、毎年4月の第4水曜日から10月の第4水曜日までで、愛知県内で熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境（暑さ指数（WBGT）の日最高値が33以上）が予測された場合、前日17時及び当日5時に県全域で熱中症警戒アラートを発表し、具体的な熱中症予防行動が示されます。

環境省のWebサイト「熱中症予防情報サイト」では、熱中症警戒アラートの発表状況だけでなく、WBGTについて、全国の観測地点での実況推定値や3時間ごとの予測値のほか、生活の場（駐車場、交差点、住宅地等）での参考値を確認することができます。また、熱中症の予防方法、対処方法など役立つ情報を得ることもできます。EメールやLINEによる配信サービスもあり、サイト内で登録方法が案内されているので、ご活用ください。

県民の皆さんも、自分に合った情報収集手段を見つけ、普段から熱中症の予防に努めるとともに、熱中症警戒アラート発表時には、適切な熱中症予防行動をとれるようにしましょう。



環境省 熱中症  
予防情報サイト  
(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)



環境省・気象庁  
熱中症警戒アラート（ポスター）

環境調査センター 企画情報部  
気候変動適応センター  
電話 052-910-5489（ダイヤルイン）





資料2 子供向け啓発パネル



資料3 大人向け啓発パネル



資料 4-1 愛知県気候変動適応センターパンフレット  
「あいちの気候変動適応」(2022年3月改訂版)表紙~3ページ



### 愛知県の気候変動適応策の事例紹介

#### 愛知県農業水産部2004～2013年度事業 高温耐性品種(種)の導入 —なつさらりの品種開発—

**Point**  
気候の変化をバネにして、より良い品種を開発する適応策をとることが重要です。

**課題**  
夏季の高温により、コシヒカリに白米熱病が発生  
●一帯米作の低下  
●主産米の60% 愛知産 43% (2009年～2013年 平均) 一帯米作  
●農家の所得減少 ●愛知産米産額が低下

**課題**  
夏季が高湿であっても品質が良い米を安定して生産できる品種が必要

**対応策**  
●「なつさらり」の品種開発  
●高温に強い品種とコシヒカリを交配し、高温耐性品種を開発  
【期間】コシヒカリに比べ10年間の開発期間が必要  
●選りなどはコシヒカリと同等  
「愛むつり」というブランド名で販売

**なつさらりとコシヒカリの白米精粒の割合の比較 (2010年～2013年平均)**

品種	割合
なつさらり	23.3%
コシヒカリ	54.3%
その他	15.6%
愛知産	0.3%

**有農の海面上昇への対応**

#### 愛知県建設局2007～2017年度事業 河川流域での被害軽減 —日光川水門門改築事業—

**Point**  
気候変動を軽減した手戻りのない施設づくりにすることで将来の海面上昇への適応策をとることが重要です。

**課題**  
流域の遊泳者・メーランド地帯を海潮・津波から守る防災の要である水門の老朽化による遊泳低下が懸念

**課題**  
将来的に利用可能な施設への改修が必要

**対応策**  
従来の海面上昇に对应できるように改修  
●水門施設への増大とした構造に加え、従来の遊泳施設化による海面上昇を考慮した構造を採用

### 愛知県民の意識調査結果

気候変動やその影響について見ました。

「気候変動」という言葉を知っていますか？

回答	割合
全く知りませんでした	4.5%
あまり知らないです	23.3%
大抵知っています	54.3%
完全に知っています	15.6%
愛知産	0.3%

「気候変動」という言葉を知っていますか？

回答	割合
全く知らないです	2.2%
あまり知らないです	15.8%
大抵知っています	42.7%
完全に知っています	31.0%
愛知産	8.3%

気候変動によって生活に影響を受けていると感じますか？

回答	割合
全く感じていません	74.1%
少し感じるようになりました	67.7%
農作物・建築物に被害が生じるようになった	50.6%
干ばつや豪雨が増えるなど自然との関係が変わった	46.5%
気候変動の影響を感じてきました	43.6%

### 私たちの身近でできる適応策

自分たちができることから気候変動への適応策に取組みましょう

- 熱中症・猛暑対策**
  - 気候の上昇することが予測されているため、これまでに以上に熱中症に気をつけましょう。
  - 暑い時期は涼しい室内で過ごし、打ち水や扇のカーテンで暑さを対策しましょう。
  - 湿度にエアコンを使わずに扇風機などで室内の湿度を調節しましょう。
- 自然災害に備える**
  - 暑期中強い台風が来る可能性があります。ハザードマップや避難所・避難経路を確認しておきましょう。
  - 災害発生時の情報収集、緊急時の準備をしましょう。
- 水資源を大切に**
  - 熱中や豪雨に備えて水を大切にしましょう。
- 気候変動により影響を受ける家(スライムや、トリスリヤカ)の生産地域が広がっています。必要のない小さな木を減らし、数の発生を減らしましょう。**

### 愛知県気候変動適応センター

**Point**  
愛知県の気候に合わせた適応策を講じていくために各地の情報を集め、発信することが重要です。

**役割**  
愛知県気候変動適応センターは愛知県における気候変動適応を一層推進するために必要な情報を取り扱う拠点として、国立環境研究所と連携しながら、県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析や事業者、県民等への情報提供、さらには市町村等への技術的助言等を行っています。  
(情報提供: 気候変動適応センター1階3号室1号、2号室 愛知県建設局河川改築推進課 第21号)

**開設場所**  
愛知県環境調査センター1階企画情報課内

**業務内容**

- 県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析
- 事業者や市民等への情報提供
- 市町村等に対する適応策を推進するために必要な技術的助言
- 国立環境研究所気候変動適応センター(気候変動適応に関する業務や研究を行う際の拠点)との情報共有

毎月「愛知県気候変動適応センター」において、気候変動の影響や適応に関する情報を提供しています。

国立環境研究所(気候変動適応センター) ↔ 愛知県気候変動適応センター(AI/CCAC) ↔ 各地の研究機関等(気候変動適応センター)

愛知県気候変動適応センター(AI/CCAC) ↔ 事業者/県民 ↔ 市町村

### アクセス

愛知県気候変動適応センター

●地下鉄有線南線(有線南線)下車4番出口徒歩徒歩約15分  
●地下鉄有線南線(有線南線)下車5番出口徒歩徒歩約15分

愛知県気候変動適応センター  
〒462-0032 名古屋市北区日出町字7-8  
愛知県環境調査センター1階 企画情報課内  
TEL: 052-910-6488 FAX: 052-991-6241

愛知県環境推進課環境調査課  
〒460-8501 名古屋市千種区三ツ木1丁目1番2号  
TEL: 052-954-6242 FAX: 052-955-2220

13 気候変動に  
取り組む

資料 4-2 愛知県気候変動適応センターパンフレット  
「あいちの気候変動適応」(2022年3月改訂版)4ページ～裏表紙